

いまこそ、女性の活躍を！ ～みんなで考え、みんなで変える～



第1部 基調講演

女性の活躍が切り拓く 日本の未来



講師
坂東 真理子
(ばんどう まりこ) さん
[昭和女子大学学長]

女性の活躍と経済の活性化は、強い関連性があります。この10年、女性リーダーが、目標の30%に向かっていて、社会が変わりつつあります。年齢別にみて、女性の25歳から39歳にある労働力率の低下(M字カーブ)を底上げする努力が必要です。女性の法的地

位は向上してきているので、男性と同じパフォーマンスを示すだけでなく、男性と異なる理想やビジョンを持ち、それを実現する新たな手法を持つことが大切です。女性も社会の一員として社会を支える大志を抱いて欲しいと講演を結びました。

第2部 パネルディスカッション

【ポイント】

- 女性の活躍に何が必要？
- 企業が女性に求めるものとは？
- 学生が感じる不安とは？
- 男性はどうなる？



パネリスト
勝間 和代
(かつま かずよ) さん
[経済評論家・中央大学
ビジネススクール客員教授]



青野 慶久
(あおの よしひさ) さん
[サイボウズ株式会社
代表取締役社長]



島田 明
(しまだ あきら) さん
[日本電信電話株式会社
取締役総務部門長]



光畑 由佳
(みつはた ゆか) さん
[有限会社モーハウス
代表取締役]



コーディネーター
飯田 香織
(いいた かおり) さん
[NHK 報道局記者、
Biz+サンデーキャスター]

各パネリストが、企業や立場で取り組んでいることを紹介し、活発な意見交換を行いました。日本が現代のグローバルな時代に生き残るためには、男性と女性はどうあるべきか話し合われました。

長時間労働の規制を一勝間さん

長時間労働の規制(週40時間以内の労働時間の徹底)と、配偶者控除の壁をなくすことが、女性の活躍につながります。これらを実現するには、国民の声が必要です。

自称イクメン社長一青野さん

サイボウズの社員は労働時間や働き方について、本人の選択を尊重しています。グループウェア上であらゆる情報を共有することで、チームワークの効果・効率は上がります。私は2度の育児休暇を取得した「自称イクメン社長」です。育児は大変な仕事。妻一人に任せておけないと思いました。

女性管理者の育成一島田さん

NTTグループにおいて、ダイバーシティ(多様性)推進活動や、初の女性管理者育成の数値目標の公表、企業内託児所の設置など、女性の活躍推進に奮闘しました。育休から職場復帰する女性社員には「復帰されるのを期待しています」と手紙を出しています。また、セミナーやワークショップを開催し、抵抗なく復帰できるようにサポートしています。

子連れワークスタイル一光畑さん

電車の中での授乳体験をきっかけに、授乳服の企画・普及活動を始めました。『子連れワークスタイル』を取り入れて、子育てと社会を結びつけ、多様な働き方を提案しています。授乳中の母親でも、仕事と育児の両立ができるライフスタイルを広げていきたいです。



健康運動実践指導者
川村 みゆき
(かわむら みゆき) さん
[コアコンディショニング
トレーナー]



大人のためのラジオ体操

子どもの頃から親しみのある「ラジオ体操」は、毎日続けると、加齢や生活の偏りなどが主な原因となる体のきしみを取り除き、人間が本来持っている機能を元に戻し維持する効果があります。男女や年齢を問わず、いつでも・誰でも・手軽にできる体操です。今回は、ラジオ体操の動作を一つずつ、ポイントを聞きながら行いました。